

キンラン、今年も咲きました!

## 4・5月を経て、、、

新年度がスタートし、早いもので2ヶ月が経とうとしております。

**年少さん**は4月に幼稚園に慣れ、ゴールデンウィークに「幼稚園より家庭に気持ちが向く」退行現象も経て、5月の充実した遊びや生活の中で個性を伸ばしつつ、お友達や集団を意識しながら人間関係を深め、徐々に社会性を育てております。この2ヶ月間の日々の経験が自信となって、今後の幼稚園生活を充実させていく大きな礎となります。1学期後半に入るにあたり、2ヶ月間のお子様の成長を認め、讃え、また励まして頂きますようお願い申し上げます。



**年中さん**は広いクラスでお友達も増え、制服登園となるなど、年少さんの頃とは異なる生活環境が「お兄さん、お姉さんになった」という自信や自覚を促してくれます。触れなかった虫に触れるようになったり、登れなかったアスレチックに登れるようになったり、「できること」が格段に増える年中さんにとって、1学期後半は、遊びや諸活動に大きく挑戦していく大切な時期です。時には失敗や挫折を繰り返す場面もありますが、挑戦する姿勢を認め、暖かく見守って頂きますようお願い申し上げます。



**年長さん**はこれまで積み上げてきた経験をもとに、新たな課題に取り組む「意欲」が成長の源になります。この意欲を維持し、高め、成長につなげていく為には、何よりも日々の安定した生活習慣が大切です。ご家庭におかれましても、十分な睡眠、早寝早起き朝ご飯、挨拶、整理整頓、ハンカチティッシュなど、年少さんから続けている基本的な習慣を崩さずに、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



## ～幼稚園における持続可能な生活スタイル～

Yurikagoでは、園の特徴の一つでもある「豊かな自然環境」を活かし、自然の中で遊び、自然とふれあい、自然を生活に取り入れる活動を通して、子ども達が心の豊かさ、優しさ、強さを等を育てていけるよう心がけております。これらは移転前の園庭でも活発に行われていましたが、移転から1年、より豊かになった自然環境とのつながりを活かし、遊びや活動が生活と密接に結びついていく、「持続可能な幼稚園教育、幼稚園生活スタイル」が展開できるようになってきました。

まだ道半ばですが、現段階で見られるものを少しずつご紹介していこうと思います。今回は「畑の堆肥」について、その内容と展開方法、教育効果についてです。

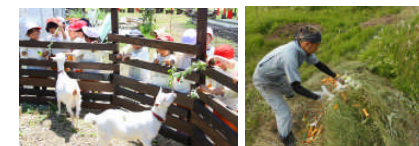
### <畑の堆肥について>

ヤギの飼育サークル前にある野菜畑、、、今この畑では沢山の野菜が育っていますが、畑の土には様々な堆肥が含まれているのをご存じですか?

干し草(雑草や芝生を刈ったもの) ヤギの糞、馬糞(発酵途中、近くのモーヴェン乗馬クラブで年長さんが頂いてきたもの)、牛糞(発酵済み、磯沼牧場より) 野菜くず(調理室からでたもの、ご家庭から持参頂いたもの)、雑木林の腐葉土

これらの堆肥は、フェンス外のスキ広場で山積みにし、十分に発酵・熟成させて畑にすき込んでいます。有機栽培のため、葉っぱが虫に食べられたり、アブラムシがついたりしますが、一つ一つ取り除き、手間暇をかけて作っています。虫がつくということは健康な野菜である証拠。安心して食べて頂けます。

また、ここで挙げた堆肥は、ただ単に購入してきたものや教職員がとってきたものではなく、遊びや活動など何らかの方法で子ども達が関わり、生活の循環を身をもって体験しているということに大きな意味があります。



例えば「ヤギとのふれあい」を例にあげると、、、

園児が草を抜いてヤギにあげる	ヤギが糞をする	堆肥になる
畑にすきこみ野菜を育てる	野菜を収穫	クッキングまたは調理室で給食の材料に
	調理時の野菜くずはヤギが食べたり	堆肥にしたり 繰り返し

このように一つの遊びや活動から様々なつながりが生まれ、つながりを辿って体験することでそれぞれの課題を解決し、教育効果を高めることができます。例えば、では生き物に対する愛着や慈しむ気持ち、お世話する気持ちを育み、では生き物の観察を、では「生き物のフンが野菜を美味しくする」といった子どもにとっては驚くべき事実を知り、では土に触れ、虫に触れ、種から育てお世話する大切さを学び、では実りを得る喜びを知り、では調理する楽しさ、美味しく頂けることへの感謝の気持ちを、では、捨てられてしまうような野菜くずも大切に生き物にあげたり、新たな野菜づくりに活かされることを知ります。このように一つ一つの体験自体に教育的意味があると同時に、体験を積み重ねていくことで、循環やつながりの大切さについて自然と理解することができるようになっていきます。

ここであげたのはごく一例で、遊びや活動は様々な方向へ無限に展開していきます。そして正に生きた素材を使って、生きた体験を通して、上辺だけでない、本物の「生きる力」を育むことができます。



## 春の遠足

春の遠足は晴天に恵まれ、多摩動物公園で様々な動物を見たり、触れ合うことが出来ました。保護者の皆様のご協力、有り難うございました。



## 自園給食・・・はじまりました!

自園給食が始まって1ヶ月、厨房の調理員さんも、まずは調理の手順に慣れ、安全な給食に全力を注いで頂きました。これからは徐々に、バラエティーに富み、園児にとって「食」への興味が一層深まる給食メニューにしていきます。また、園児が栽培した野菜も少しずつ加わっています。まずは、ホウレンソウ、今後はスナップエンドウ、ジャガイモ、枝豆、キャベツ、ナス、ピーマン、キュウリ、トマト、トウモロコシ、大根、ニンジンなど、春・夏野菜を中心に畑で収穫し給食に出てまいります。お楽しみに!



ホウレンソウを収穫して、井戸で洗って、調理室に運んで、調理をお願いしました!!



お弁当も色々な場所で・・・場所が変わるとより美味しく感じます!特に自然の中は!



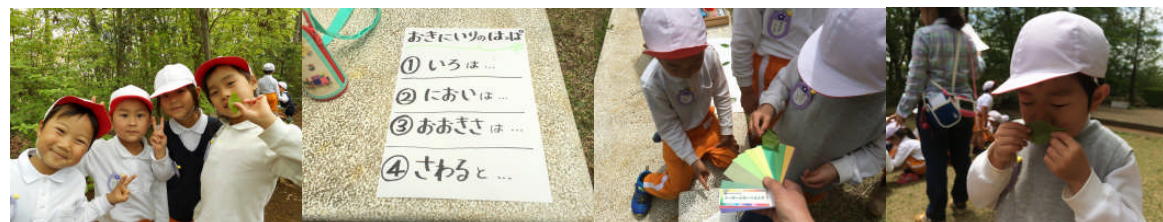
## ～園外保育 いろいろ～

4・5月、年中・長さんは春を探しに公園に出かけました。幼稚園の深い森には日常的に入れるため、居住環境にある自然公園を選んで出かけました。季節に応じ、様々な発見を楽しみます。年少さんもこれから徐々に出かけしていきます! お楽しみに!

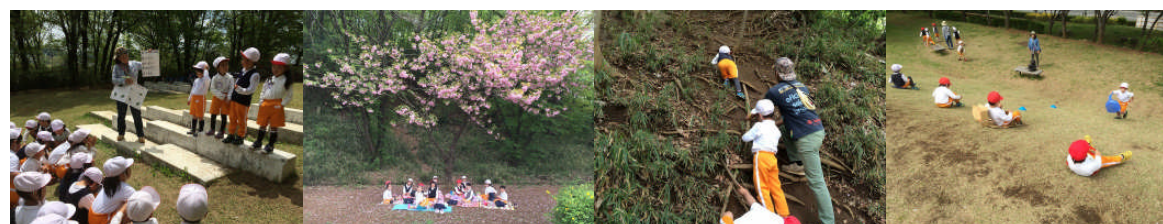
年長 宇津貫公園 五感を使って春を探し、感じ、表現し、遊びました!



春の花は? 公園まで歩きながら春探し



林でお気に入りの葉を探し、視覚、嗅覚、触覚を研ぎ澄ませ、感じた事を



グループ毎に発表 お花見弁当 崖登り 芝すべり

年中 大地沢青少年センター 水、木、草、実、生き物、豊かな原体験を!!



川で沢ガニを。池でオタマジャクシを。森でメタセコイアの巨木と戯れ実を集め。



**年中 宇津貫公園** 春の花にたくさん触れ、身近な公園を楽しみました！



近くに住んでいても遊びに来たことが無い・・・というケースもあります。是非お休みの際など、身近な公園で遊んでみて下さい！

**年長 枋谷戸公園** 枋谷戸公園に歩いていきました。稲作が始まった年長さんは枋谷戸の田んぼの様子を見て参考にします。



展望台から、、、 林の中を 石橋の長さを手をつないで測ったり、、、

石積みの棚田！ 稲苗の生長を観察 畦塗り後のきれいな田んぼを眺め、、、



池で生き物を観察 林ではネイチャーゲームのカモフラージュ 実も沢山拾った

～栽培いろいろ～

「1～10まで子どもが・・・」という自主自律を促す「労作」の第一歩。野菜畑で、棚田で、教室前花壇で、My鉢で、、、様々な場所で色々な野菜・お米が育ちます。

**年長 お米作りスタート** 本年度もお米作りが始まりました。棚田の一番下の面を使って育てていきます。泥遊びや生き物探しも楽しみながらおこなっていきます。まずは、種籾選定、芽だし、種籾まき、田起こしの作業です。

<種籾選定～芽だし>



卵を入れた水槽に塩を入れ、卵が浮く塩分濃度になったら種を入れます。種が浮いたものは密度が低く使えません。

沈んだ種籾を採取します。こうして選んだ種籾を数日間水につけ芽出しをしていきます。

<苗床の土作り～種籾まき>



土をふるい、育苗箱に新聞紙を敷き保水性を高めふるった土を入れます。そこに芽が出た種籾を蒔き、上には細かい焼き土(焦土)をかけて一段落！ 後は鳥に食べられないようにネットをかぶせ、田植えまで1ヶ月間水やりを続けます！

<田おこし>



棚田では田起こし。土を掘り起こし空気を入れます。

さあ、次はいよいよ泥遊びと「しろかき」です！

**年中 マイ鉢でアサガオ栽培** 園庭斜面で石を拾いmy鉢に石を敷き、黒土・堆肥を入れて種を蒔きました。きれいなお花が咲くように、大切に育てていきます！





**年長 マイ鉢でミニトマト栽培** 年中から使っているmy鉢に石を敷き、黒土と堆肥を混ぜmy鉢に。苗を逆さまにしてポットから出して植え付け。毎日大切に育てていきます！早速、苗を観察して、絵を描きました。



**年少 レタス栽培** 年少さん、はじめての栽培はレタス。ていねいに種を蒔きました。大切に育て、収穫したらクッキングの材料になります！



**野菜畑から・・・**10種類以上の野菜を育てています。子ども達も種を蒔き、苗を植え、野菜の育ちを見守っていきます。給食の材料や、クッキングの材料になります。



年少さんの枝豆



年長さんはトウモロコシ、ズッキーニ、オクラ



年中さんのナス、ピーマン、キュウリ



**棚田から・・・**棚田では今の年中さんが年少の時に蒔いた小麦の種が育ち、見事な穂ができました。もう少しで収穫です！うどんにしようか、パンにしようか、それともピザかな？一番上の段では年中さんがサトイモを植え、サツマイモも育っています。



**保育室前のプチガーデンから・・・**離れた野菜畑や棚田と違って身近な成長を感じることができる保育室前のプチガーデン。子ども達の興味・関心に従って様々な植物が育つ事を願っています。クラスによって色々なガーデンができていくことでしょう。ゆくゆくはお母様方の「お花クラブ」にもお花を植えて頂きたいと思っています。



**今年も“おカイコさん”を育てています！！**

本年もおカイコさんを育てます。横浜のシルク博物館から頂いたゴマ粒より小さい500粒の卵が23日に孵化しはじめ、小さなカイコの赤ちゃんが元気に箱の中で桑の葉を食べております。最終的に体重1万倍の大きさに生長するカイコには、餌となる大量の桑の葉が必要となります。園庭にも桑の木はありますが、足りませんので、どこか採取できる良い場所がありましたら教えてください！

もう少し大きく生長したところでクラスでも飼育、観察できるようにしたいと思っています。昨年は環境が整わず、糸くくりまで出来ませんでした。最終的には糸をとり、あやとり等、遊びや生活に活かせる物を作りたいと思います。

**驚きのカイコ** カイコは繭は1本の長い糸でできています。長さは1300～1500mと、スカイツリーの2つ分！驚きの力ですね！



**「園庭散策と篠竹刈り」・・・感謝！**

年中・年長さんの保護者の方を対象に行った散策と森の篠竹刈り。ご参加頂きましたお母様方、有り難うございました。篠竹を刈るだけで、永年眠っていた様々な野草が芽吹いてきます。豊かな植物が今後も美しい花を咲かせることができます。子ども達も花を楽しみながら心豊かに育っていくことでしょう。





～園庭の植物～

園庭の「森の広場」には、住宅地等では見られない、里山の雑木林に特有の貴重な植物が多数生息しています。今回は5～6月に咲く花を紹介します。

キンラン



ギンラン



日本の野生蘭のひとつでかつては雑木林の何処にでも見られた花でしたが、今やキンランは環境省の絶滅危惧種に。雑木林の下草刈りをしなくなり生育環境が悪化したり、採取されてしまう為だそうです。私たちがこの地に初めて足を踏み入れた時、園庭の雑木林も一面篠竹で覆われていましたが、下草を刈ることで、土の中に眠っていた種が次々に芽を出しました。(シードバンクと言います) 人の手が入ることで維持されてきた里山の自然の象徴ですね。この花は「菌根菌」と呼ばれる菌類と共生する特殊な生育形態にあり、特に林下等の特殊な土壌にのみ生息し、採取・移植しても住宅等で育てる事は不可能なのだそうです。

ホウチャクソウ



ユリ科。宝鐸(ほうちやく)とは、五重の塔など寺院の軒先の四隅に吊り下げられた飾りのこと。花が垂れ下がって咲く姿がこの宝鐸に似ることからそう呼ばれるそうです。森の広場に群生します。



宝鐸

タツナミソウ



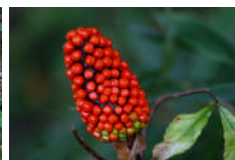
シソ科。花を横から見た形が、波頭のように見えることからついた名前。森の広場の所々に色鮮やかに咲きます。



葛飾北斎「富嶽三十六景」の波頭

マムシグサ

サトイモ科。模様がマムシに似ているところからこの名がつけられました。春に出た芽はマムシのしっぽにそっくり、花はマムシが立ち上がり威嚇しているようにも見えます。蛇が苦手？な方は気味が悪いと感じるかもしれません。秋には真っ赤な実の塊をつけますが、これまた不気味！



秋に結実

森の広場に点在。

～5月のいろいろ～

**すべり台完成!** 1週間の工事を経て、すべり台が完成しました! 多少コツがあり、滑る本人次第でスピード調整がいかようにもなります。年長は既に風のように滑っています!



**鉄腕クラブ** 第1回目の鉄腕クラブで、すべり台や人工芝のまわりに180本のツツジと中・高木を植えていただきました。これによってツツジ迷路ができあがり、また滑り台の日よけ・衝突防止をはかることができました。

また、後半は、田んぼの畦塗りを行いました。みなみ野自然塾の橋山塾長さんにお越しいただき、見事な鍬(くわ)さばきを見習い、お父様方に奮闘して頂きました。おかげさまで素晴らしい畦ができあがりました! 皆さま、ありがとうございました!!!



**「ミスタードーナツ」**スマイルキッズプロジェクト。年中・長はポンデライオンくんと踊ったり、年長はデコレーションをしたり、年少さんもポンデライオン君とふれあい、ドーナツを頂きました!



**ドングリ見送り会 ～こどもの森づくり「東北復興グリーンウェイブ」～**

津波で沢山の森が失われた東北。その東北の園児が拾ったドングリを、全国の園の有志で苗木に育て、また東北に送るというプロジェクト。当園でも大切に育ててきた苗木を送りました。プロジェクトの後援をしている全国郵便局を代表して、八王子南郵便局の局長さんにお越し頂き、園児から直接苗木をお渡ししました。東北にまた豊かな森ができますように・・・。





5月のいろいろ



森の木を眺める



コスモス畑を作りました。きれいに咲きますように!



キジの雄(左)と雌(右)、カルガモのつがいが今年も遊びにきました。モリアオガエル



お部屋にオニヤンマ(少)と沢ガニ(長)が!

ヤマアカガエル...  
これから山へ

5月も楽しいことや発見がたくさんありました!